

財っ子通信

文責 校長：三樹和幸

財光寺小学校

やりたいこと できることが増え

電話：54-2825

やらなければならないことが 確実に定着し みんなが伸びる学校

校長 Email:

zaikoji-k@hyugacity.jp

ご挨拶

この度、財光寺小学校校長として着任いたしました三樹和幸（みつぎ かずゆき）と申します。どうぞ、宜しくお願いします。

簡単に自己紹介をさせて下さい。日向市出身で、日知屋小、富島中学校、日向高校の卒業生（3回生）です。小学校の教員として、塩見小学校や日知屋東小学校で勤務したこともあります。もしかしたら、保護者の皆様の中に、私の教え子がいるのではと思っています。

私は、子供たちが、「やりたいこと できることが増え やらなければならないことが 確実に定着し みんなが伸びる学校」作りを目指しています。

やりたいことが増えるには、いろんな出会いが大切です。子供たちの価値感や世界観が上げられるような仕掛けを考えていきます。

できることが増えるには、失敗をものともしない強さが必要です。昨年、日向市全体で子供たちの意識調査を行ったのですが、成長するにつれ、自分に自信がなくなったり、挑戦する意欲が下がっていく傾向が明らかになりました。そこから分かるのは、子供は極端に失敗を怖がっているということでした。本来、人間は、失敗から学びながら大きくなるものです。赤ちゃんの時から、何度も寝返りを試みて寝返りを覚え、這い這いを試みて這い這いを覚え、何度もよろけながら立つことを覚え、そして歩き出す。失敗するたびに大きく落ち込むことはなく、試みることができていたのです。

しかし、成長する中で、他と比較して落ち込んだり、できないことが、さも悪いことのように感じられるようです。一番大切なのは、失敗したときに何を学ぶかです。それができことが増える一番の秘訣です。そういう働きかけをしていきます。

やらなければならないことが確実に定着するとは、当たり前前の方が当たり前前ができるということです。挨拶をすること、後片付けをすること、自分の口で相手に思いを伝えることなどです。勉強も大切ですが、こういった根幹部分の指導を徹底します。学校は「公」の場所ですから「公」も指導します。例えばバスの中でもお店の中でも、自分の家を一步踏み出て、誰かと居合わせた時点で「公」になります。昔は悪いことをしたら「世間様に申し訳ない」という言葉がありました。この言葉は、実に深い意味を持っています。「世間様」という公に対する畏怖と尊敬があるからです。個人主義が蔓延すると、この世間様が軽んじられ、個人が楽しければ他に迷惑がかかろうが関係ないという発想になってしまいます。しかし、社会を構成しているみんなに迷惑がかからないようにする発想は受け継いでいきたいものです。

子供たちのよさを伸ばすことが何よりも一番ですが、子供たちが、「わがまま」や「意地悪」をした時、「嘘」を言った時は、しっかり指導します。また、自分の伝えたいことが伝えられるようにもしていきたいと思えます。

こういったことを大切にしながら、子供たちの生き抜く力を育成していきます。

